



2014年3月期連結決算説明会



2014年6月6日



株式会社 シード



証券コード
7743

目次



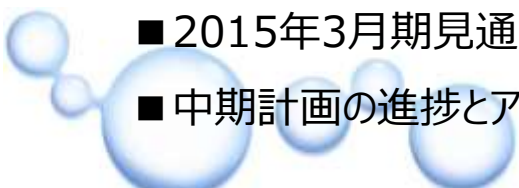
- 通期連結決算のポイント……1
- 通期連結決算の概要……2
- 公表値との差異について……3
- 売上高の状況……4
- 利益増減分析……5
- 財務状況推移……6
- キャッシュ・フロー推移……7
- キャッシュ・フロー関連指標推移……8
- 財務指標の推移……9
- 2015年3月期重点施策……10
- 2015年3月期見通し：ポイント……11
- 2015年3月期見通し：概要……12
- 2015年3月期見通し分析：売上高……13
- 2015年3月期見通し分析：利益増減……14
- 中期計画の進捗とアップデート……15
- 各戦略の進捗とこれからの取組み姿勢……16
- 中長期的な取組みのひとつ……17
- コンタクトレンズ市場……18
- 海外展開状況について……19
- 設備投資・減価償却・研究開発費……20



[参考資料]

- 会社概要……21
- プロダクト紹介……22
- 新たな「見える」もサポートします……25
- 連結子会社……26

※連結数値でのご説明となります



《通期連結決算のポイント》

- 主力であるコンタクト売上高が**32.8%** 伸長
ワンデーピュア シリーズ ⇒ 約**30%** 伸長(単体卸売ベース)
アイコフレワンデーUV ⇒ 約**98%** 伸長(単体卸売ベース)
- 粗利率 **4.2%**ダウン ⇒ 減価償却や製品構成の影響
- 積極投下の経費を賄い、営業利益 **36.6%** 増
広告宣伝+**292**百万円、物流費+**205**百万円、人件費+**136**百万円
- 特別損失計上、繰延税金資産取崩しによる税負担増
前期受取和解金4.6億円の影響で、**5.1億円**の減収
- 営業CFは、10億円台半ばの創出を4期継続

《通期連結決算の概要》



金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	前期比較	
				金額	増減率
売上高	12,666	15,038	19,182	4,143	27.6%
粗利益	5,602	7,108	8,267	1,159	16.3%
(粗利率)	44.2%	47.3%	43.1%	△ 4.2%	
販管費	5,263	6,260	7,109	848	13.6%
営業利益	339	848	1,158	310	36.6%
(営業利益率)	2.7%	5.6%	6.0%	0.4%	
経常利益	296	761	1,075	314	41.3%
当期純利益	187	969	455	△ 513	△ 53.0%

《公表値との差異について》



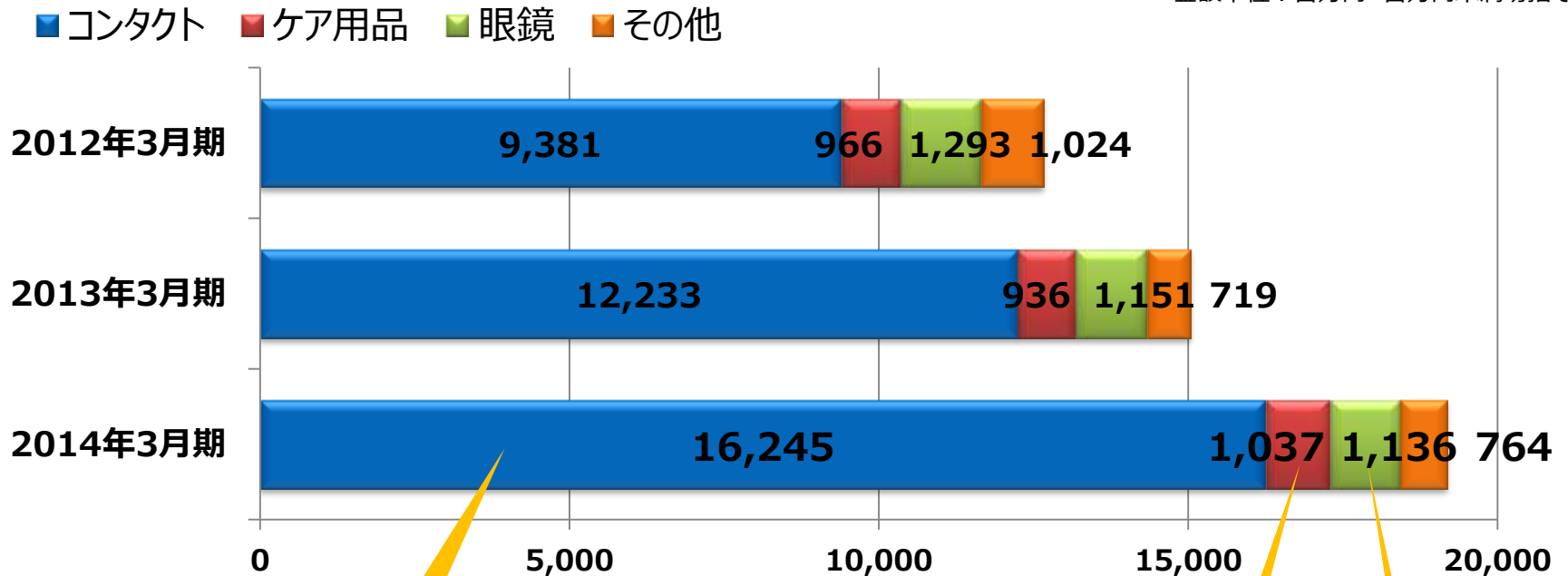
金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2013.5.15付 公表数値	2013.8.12付 公表数値	2014.2.17付 公表数値	2014年3月期	差異
売上高	17,500	18,000	18,300	19,182	882
営業利益	940	940	1,100	1,158	58
(営業利益率)	5.4%	5.2%	6.0%	6.0%	-%
経常利益	820	820	1,000	1,075	75
当期純利益	400	440	410	455	45

アイコフレワンデーUV、ヒロインメイク ⇒ 当初計画の**45%増**
ワンデーピュアシリーズ ⇒ 乱視用投入遅れの影響があったものの**計画どおり進捗**
+ 消費税増税前の駆け込み需要が影響したため

《売上高の状況》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



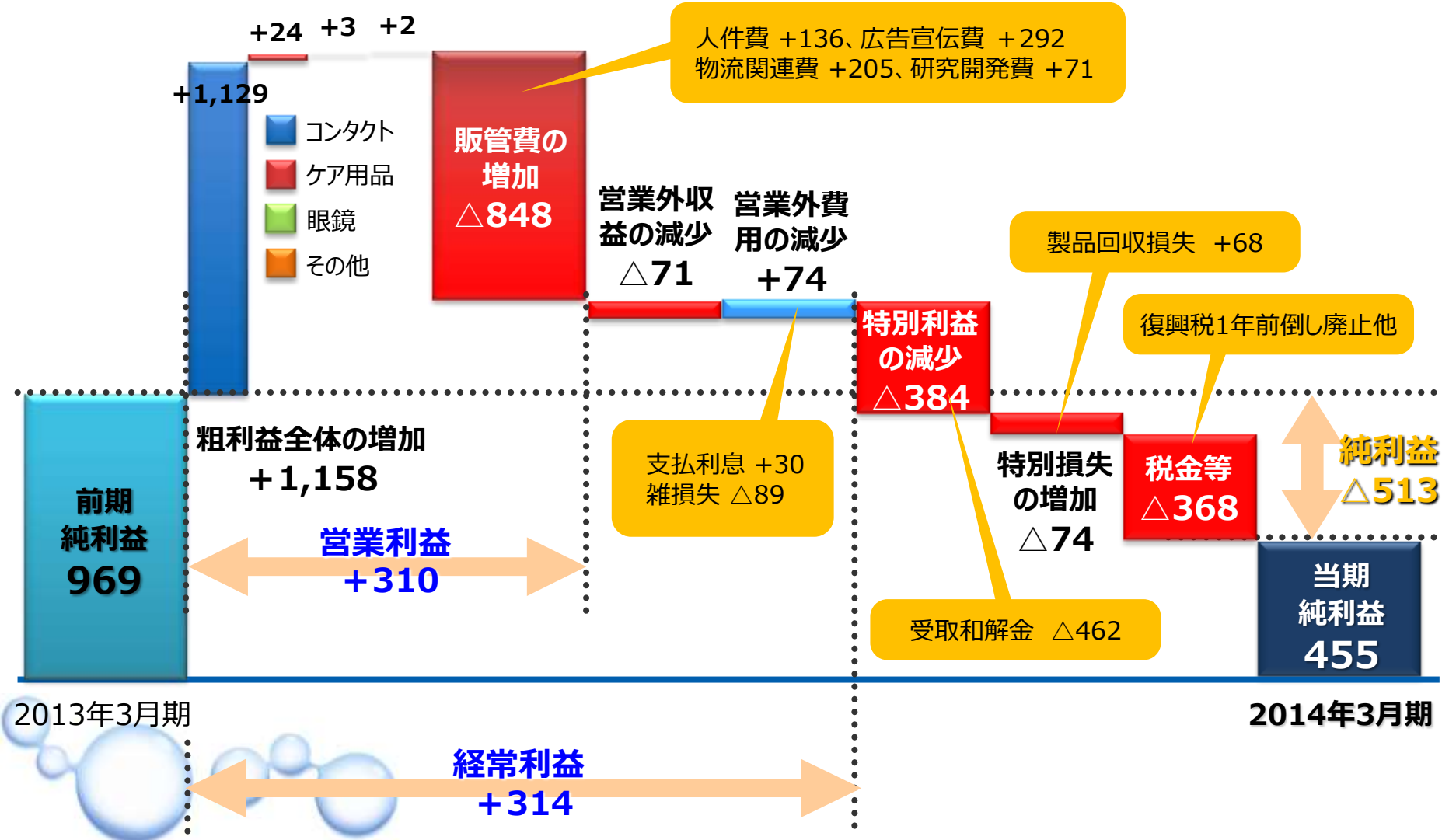
ワンデーピュアシリーズ 前期比 **30.2%増**
アイコフレワンデーUV 前期比 **97.9%増**
ヒロインメイクワンデーUV 投入 **純増効果**
※増減比率等は単体卸売ベース

各カテゴリで前期比 **+進捗**
増税前駆込み需要効果もあり

子会社の小売部門が販売価格競争激化により苦戦。しかし、
単体卸売で、フレームが前期比**9.7%増**と健闘し、全体では微減

《利益増減分析》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



《財務状況推移》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2013年3月期		2014年3月期		前期末比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	20,349	100.0	22,939	100.0	2,590
流動資産	7,717	37.9	10,393	45.3	2,676
内 現預金	1,169	5.7	2,023	8.8	853
たな卸資産	2,661	13.1	3,566	15.6	905
固定資産	12,632	62.1	12,546	54.7	△ 85
内 有形固定資産	11,199	55.0	11,728	51.1	529
負債の部計	13,704	67.3	14,654	63.9	949
流動負債	6,636	32.6	7,945	34.6	1,308
内 短期借入金	2,637	13.0	3,472	15.1	834
固定負債	7,067	34.7	6,708	29.3	△ 358
内 長期借入金	3,584	17.6	3,142	13.7	△ 442
長期リース債務	2,441	12.0	2,285	10.0	△ 156
純資産の部計	6,644	32.7	8,285	36.1	1,640
負債純資産計	20,349	100.0	22,939	100.0	2,590

新製品投入準備や、
スペック拡充等に伴う
在庫投資を実施

鴻巣研究所の2号棟
新設による増加

自己株式処分に伴い
売却差益10億計上

《キャッシュ・フロー推移》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2013年3月期	2014年3月期	前期比較
営業活動によるC・F	1,768	1,409	△ 359
内 税金等調整前純利益	1,195	1,050	△ 144
減価償却費	1,199	1,539	340
売上債権の増減	△ 437	△ 1,314	△ 876
たな卸資産の増減	△ 753	△ 905	△ 151
投資活動によるC・F	△ 1,766	△ 1,496	269
内 有形固定資産取得支出	△ 1,745	△ 1,763	△ 17
財務活動によるC・F	213	936	723
内 短期借入金の純増減額	50	620	570
長期借入金の借入	3,600	1,150	△ 2,450
長期借入金の返済	△ 1,480	△ 1,377	102
自己株式の処分による収入	—	1,336	1,336
社債の償還による支出	△ 1,500	—	1,500
現金及び現金同等物 期末残高	1,169	2,023	853

2011年3月期から4期間でのべ67億円の営業活動によるC・Fを創出

3月の増税前駆け込み需要等により増加

新製品投入準備や、スペック拡充等に伴う在庫投資を実施

自己株式85万株の処分

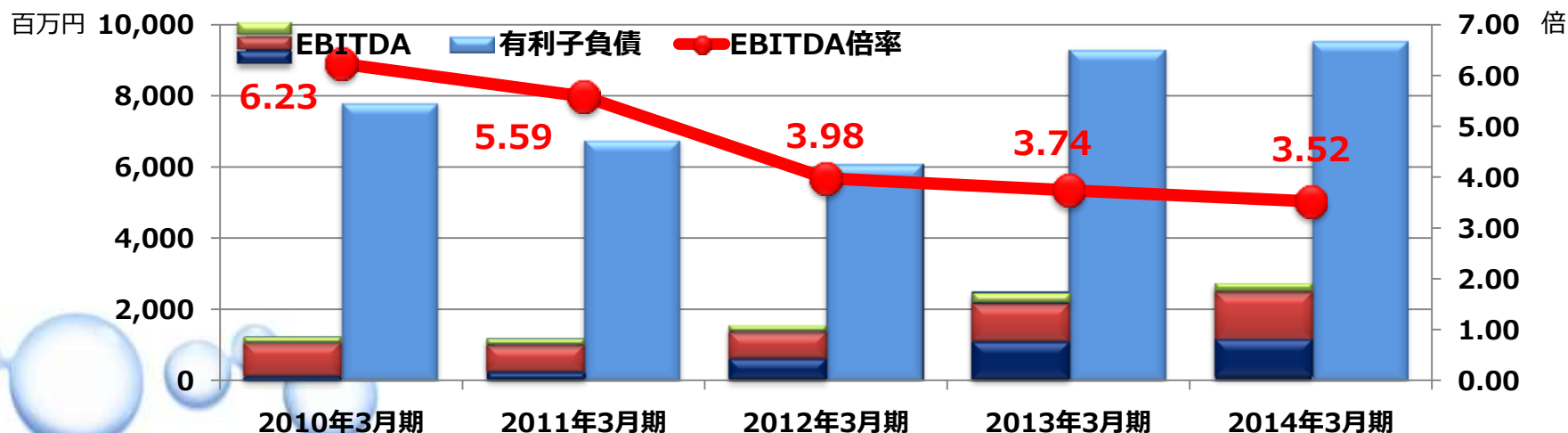
《キャッシュ・フロー関連指標推移》

バランスの取れた各C・F間での収支

単位：百万円

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
営業活動によるC・F	469	1,890	1,619	1,768	1,409
投資活動によるC・F	△ 726	△ 14	△ 450	△ 1,766	△ 1,496
財務活動によるC・F	254	△ 1,227	△ 1,220	213	936
EBITDA 税前+減価償却+利息	1,256	1,214	1,535	2,492	2,718
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	11.3%	10.3%	12.5%	16.6%	14.2%

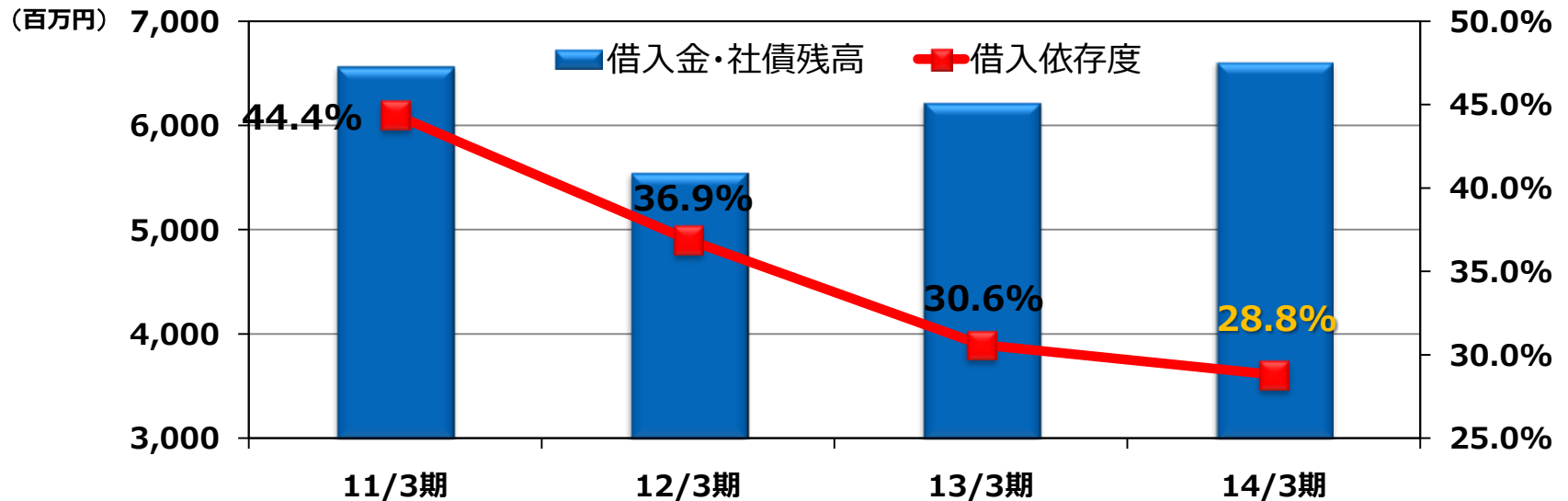
在庫投資 △754 △905



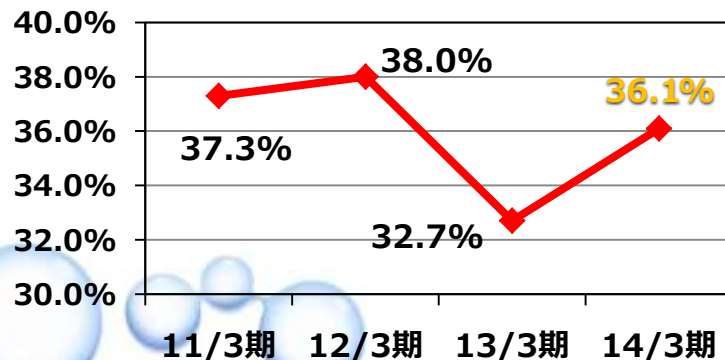
※有利子負債に、リース債務を含めております。

《財務指標の推移》

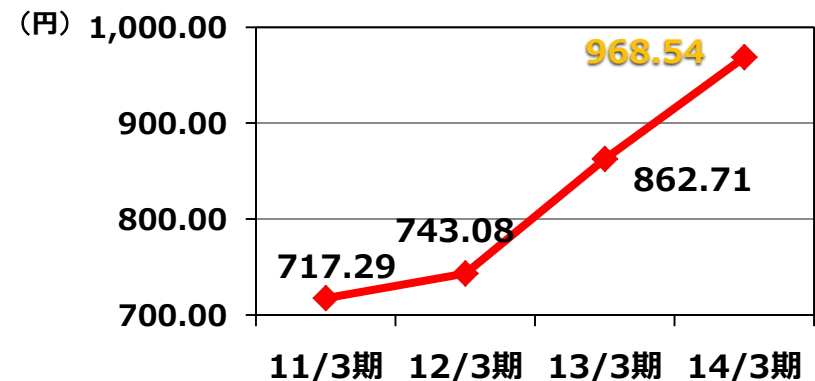
◆借入金・社債の推移



◆自己資本比率



◆1株当たり純資産額



《2015年3月期重点施策》

●ワンデーピュアシリーズの拡充と伸長

- ・6月より『シード ワンデーピュアうるおいプラス乱視用』を販売開始。ピュアシリーズ全体での拡販を強化
- ・ピュアシリーズの中国での販売開始

●サークルレンズの底上げ

- ・スペックの強化や姉妹品を投入予定

●ケア用品低価格商材やOEM商材の活用

- ・低価格商材やニッチ商材を活用。また、OEM供給も展開して売上確保を図る

●既存ブランドのリニューアル展開と新型メガネフレームの投入

- ・主力のビビッドムーン、プラスミックスの販売強化と既存ブランドのデザインリニューアルによる底上げ
- ・中高年向け新ブランドの、『フェザント』と『ファセット ファム』の2アイテムを投入

●生産能力の増強や徹底した原価低減を図る

- ・機械稼働・人員効率等を向上させ、直行率を上げることで原価低減(△50円/箱)と、生産箱数の増強を図る

●DDS(薬物送達システム)レンズの治験開始へ

- ・臨床治験業務の代行、支援機関のCROとの契約。厚労省を含めた3者による協議を経て治験を開始する

《2015年3月期見通し：ポイント》

- **コンタクト売上高 186億円** (前期比 **14.5%増**)
 - ワンデーピュアシリーズ ⇒ 前期比 **24%増** (単体卸売ベース)
 - アイコフレワンデーUV ⇒ 前期比 **15%増** (単体卸売ベース)
 - ピュアシリーズ中国での販売許認可 ⇒ **販売開始** (ワンデーから)
- 鴻巣研究所の原価低減進み、減価償却負担増もカバー ⇒ **粗利率 43.9% (+0.8%UP)**
- **ユーザー獲得・ブランド認知向上のための広告宣伝**
- **具現化されてきた開発テーマを加速化**
 - 研究開発費 **+729百万円** 広告宣伝 **+108百万円**

《2015年3月期見通し：概要》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

	2014年3月期	2015年3月期見通し	前期比較	
			増減	増減率
売上高	19,182	21,400	2,217	11.6%
営業利益	1,158	1,220	61	5.3%
(営業利益率)	6.0%	5.7%	△ 0.3%	
経常利益	1,075	1,100	24	2.3%
当期純利益	455	500	44	9.7%

■ 配当

		2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期見通し
1株当たり 配当金	中間	—	—	—
	期末(年間)	20.00円	25.00円 (内 記念配当5円)	22.50円

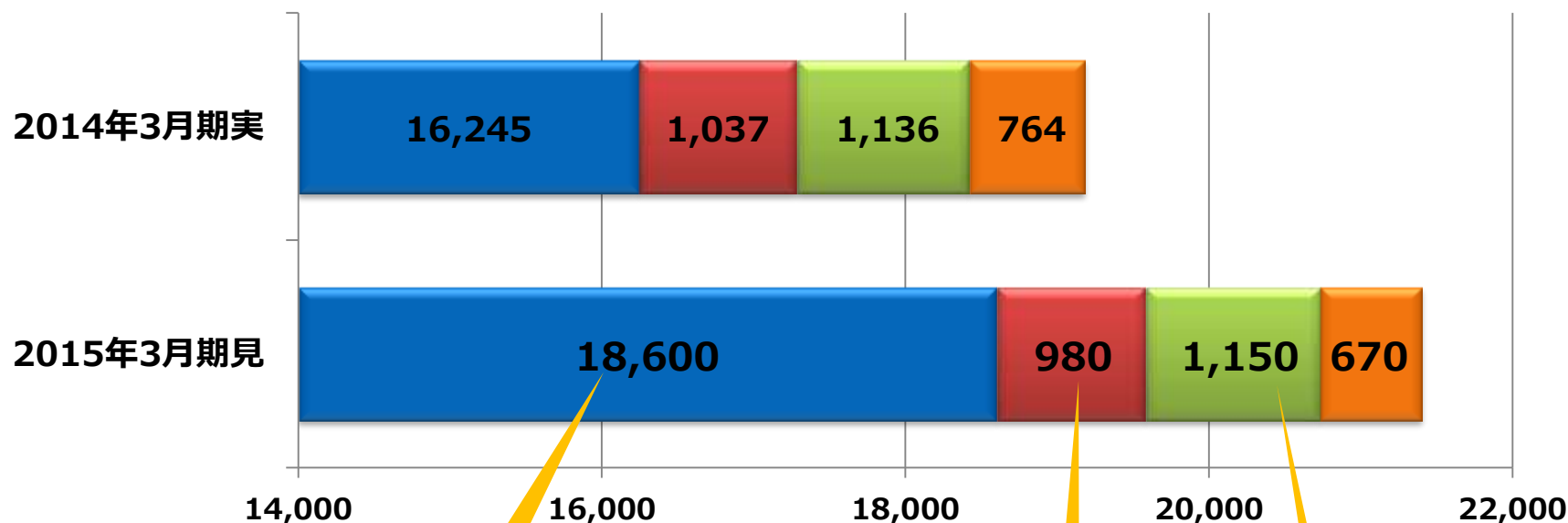
研究開発費・広告宣伝費等の積極的な投下により、小幅な伸長に…

普通配当対比では+2円50銭

《2015年3月期見通し分析：売上高》

金額単位：百万円 百万円未満切捨て

■コンタクト ■ケア用品 ■眼鏡 ■その他



ワンデーピュアうるおいプラス乱視用を投入し、シリーズ全体の売上拡大を図る。また、中国におけるピュアシリーズの販売許認可が降り、販売活動を開始

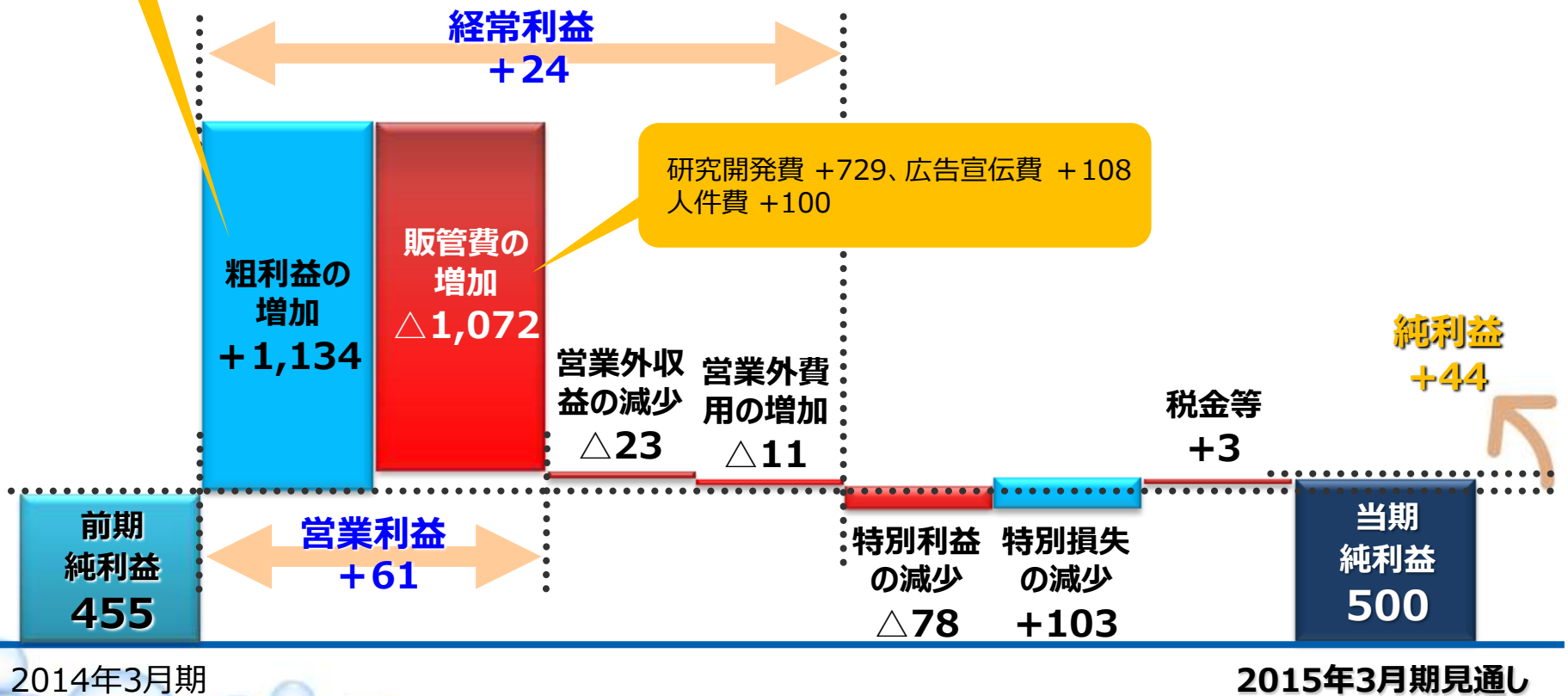
低価格商材やニッチ商材を活用。また、OEM供給も展開して売上確保

中高年向け新ブランドの、『フェザント』と『ファセット ファム』の2アイテムを投入するなどし、前期ベースを維持する

《2015年3月期見通し分析：利益増減》

原価低減効果や遠近両用等の高付加価値品の利幅拡大が寄与。減価償却負担増加分をこれらがカバーし粗利率は前期水準をキープ。

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



2014年3月期

2015年3月期見通し

《中期計画の進捗とアップデート》

2014/3期の上積み分をベースに、各戦略を踏襲する

(単位：百万円)

	2013/3期	2014/3期		2015/3期		2016/3期	
	実績	当初目標	実績	当初目標	修正目標	当初目標	修正目標
売上高	15,038	17,500	19,182 達成率 +9.6%	19,500	21,400 +1,900	22,500	23,500 +1,000
営業利益	848	940	1,158 達成率+23.2%	1,170	1,220 +50	2,280	2,000 △280
純利益	969	400	455 達成率+13.8%	500	500 ±0	1,150	900 △250
EBITDA (EBITDAマージン)	2,492	2,718 (14.2%)		3,000 (14.0%)		3,980 (16.9%)	

ワンダーのシェア 10%に到達

さらにワンダーで2位を目指す

コンタクト全体のシェア 10%以上

研究開発の積み増しにより、売上進捗より小幅な伸長

(単位：億円)

	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
研究開発費	4.9	5.6	12.9	12.0
設備投資	47.5	19.7	40.0	35.0
減価償却費	11.9	15.4	17.6	19.8

当初3カ年24億円→30.5億円

当初3カ年100億円→94.7億円

償却スケジュールを見直し

《各戦略の進捗とこれからの取組み姿勢》

生産戦略

済 鴻巣研究所の
月産2,000万枚体制の確立

強 生産力向上中+2号棟建設中

済 工程改善や省人化による生産
効率UPと原価低減

継 生産性向上中

徹底した品質管理と
国産品質の訴求

引き続き継続

開発・商品戦略(商品)

済 遠近用、乱視用タイプの投入

継 乱視用 5月全国発売開始

新機能の添加・**スペック拡充**

継 研究開発中

眼鏡、ケア用品の挺入れ

新新材の投入

開発・商品戦略(開発)

強 DDSコンタクトレンズの投入

強 治験開始

新素材コンタクトレンズの投入

強 商品化へ加速中

新しい領域へのチャレンジ

商品化へ加速中

国内市場シェア10%以上・連結売上高 235億円

広告・マーケティング戦略

継 マスマーケティングを中心とした
消費者向けアプローチ

強 順調に進捗

個店別のきめ細やかな営業展
開と新規取引先の獲得

強 さらに強化

学術営業の強化

さらに強化

海外戦略

継 シード(実瞳)上海の存在を
アピールしブランド価値組成

強 うるおいプラス中国販売許認可

ベトナム、モンゴル、シンガポ
ール、**インドネシア**、マレーシア等
コンタクト途上国へ積極進出
台湾、イギリス、イタリアも準備
を開始

各国販売強化と進出国拡大

基本戦略①

済 横浜物流Cの拡充による
配送能力の強化

済 拡充対応完了

済 福岡物流Cを新設し、九州
地区のコスト減とリスク分散

済 2014年7月稼働予定

システムインフラの整備

順調に進捗

《 中長期的な取組みのひとつ 》

開発・商品戦略(開発)



新素材の開発

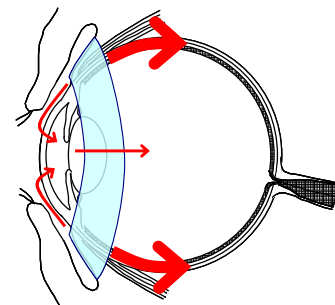
- ・シリコンハイドロゲル素材等
瞳にやさしい新素材。
酸素透過率が従来のソフトコンタクトより高い。

医薬分野との融合

- ・DDS(薬物送達システム)レンズの開発
- ・強膜リングデバイスの開発

ソフトコンタクトの素材に、薬剤を染み込ませて、長い時間をかけて薬剤を徐放させる機能を備えた使い捨てコンタクトレンズ。

現在、DDSレンズでは、花粉症等から発症するアレルギー性結膜炎に効果のある薬剤を選定し、商品化に向けて治験準備を進めております。

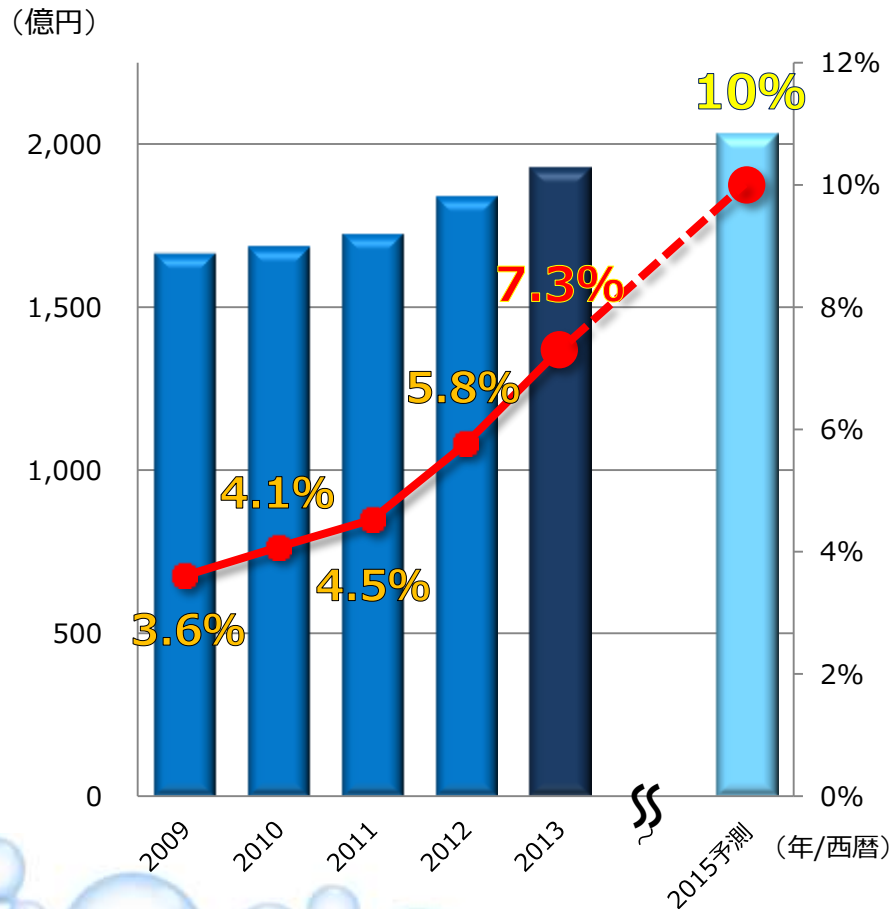


- 強膜リングデバイス(左)とその薬剤移行のイメージ(右)

《コンタクトレンズ市場》 ※メーカー出荷額ベース

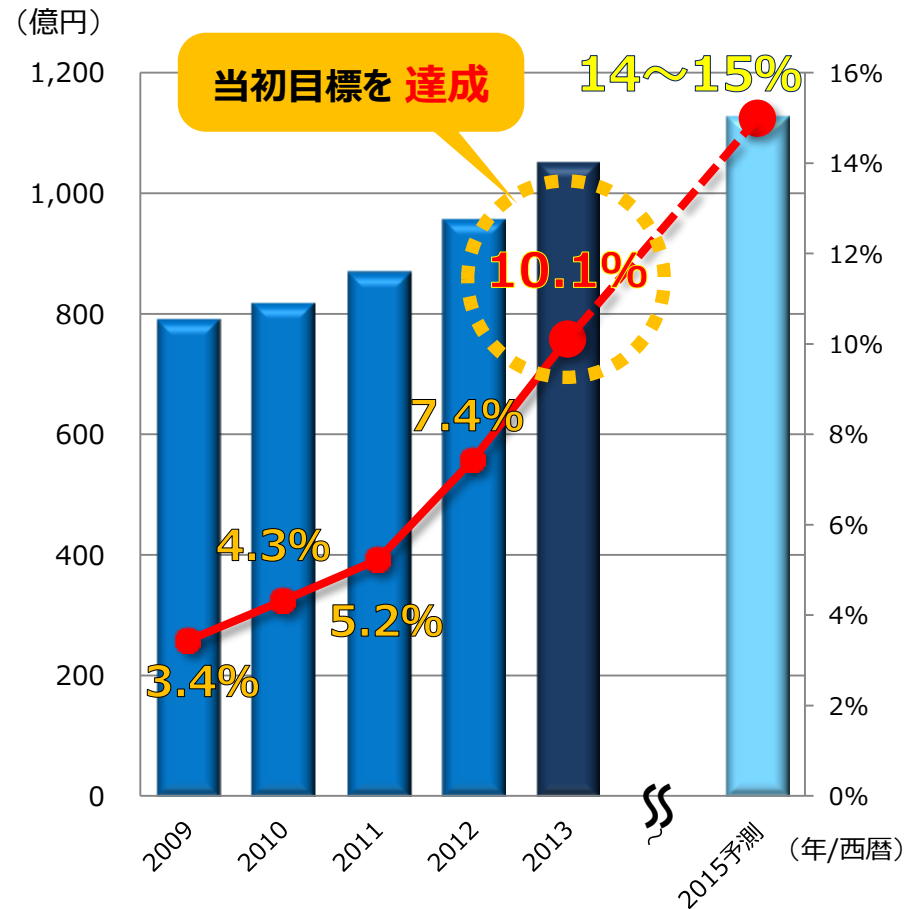
(当社調べ)

《コンタクトレンズ市場と当社シェア》



2015年 **10%** のシェア獲得を目指す


《1日使い捨てタイプ市場と当社シェア》



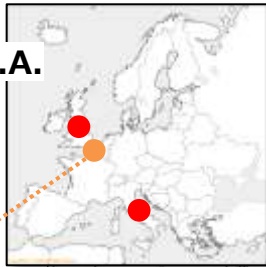
2015年 **2位** のポジションを目指す


《海外展開状況について》

[現地法人] 
SEED Contact Lens Europe S.A.


 欧州

- ルーヴァン・ラ・ヌーヴ大学と新素材等に関する共同研究体制構築
- 欧州でのピュアシリーズのOEMは、複数の企業、チャネルで協議を継続中
- イギリス、イタリアでの販売開始に向けて準備中



 **モンゴル**

- 2012年10月より主要ブランド出荷開始



[現地法人]
実瞳(上海)商貿有限公司

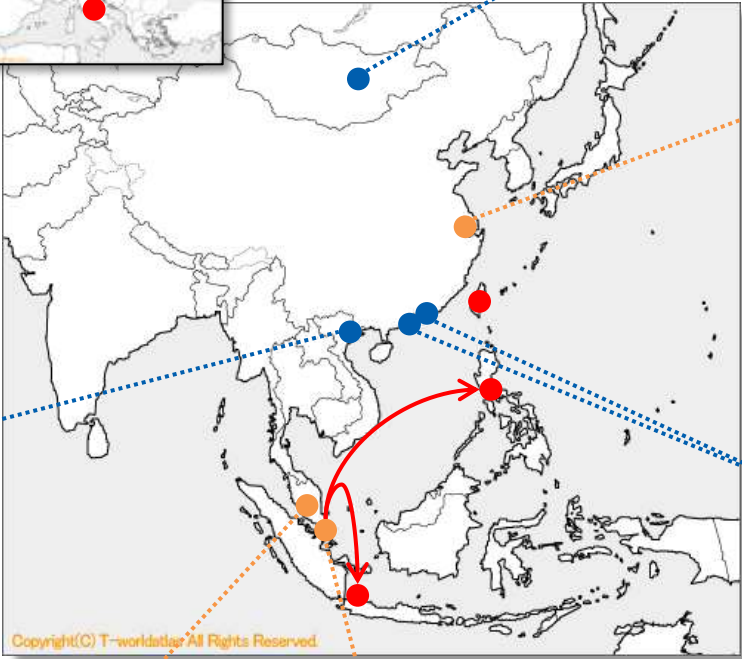
 中国本土主要都市

- ブランド認知の為の広告活動展開
- ファインシリーズ、アイコフレワンデーUV販売中
- ピュアシリーズの販売認可が降り、今年8月に出荷開始予定
- 台湾調査中



 **ベトナム**

- 2011年8月初出荷～拡販展開中
- 首都ハノイの国立眼科病院及びホーチミン最大の眼科病院においてコンタクトレンズルームの設立に協力
- アイコフレワンデーUVやケア用品も販売開始。遠近両用を現在、申請中


特別行政区

 **香港**  **マカオ**


- 2013年12月より出荷を開始




[現地法人]
SEED CONTACT LENS (M) SDN.BHD.

 **マレーシア**


- 2014年4月より販売活動開始



[現地法人]
SEED CONTACT LENS ASIA PTE.LTD.
(●インドネシア、フィリピンへのハブ的な役割も)

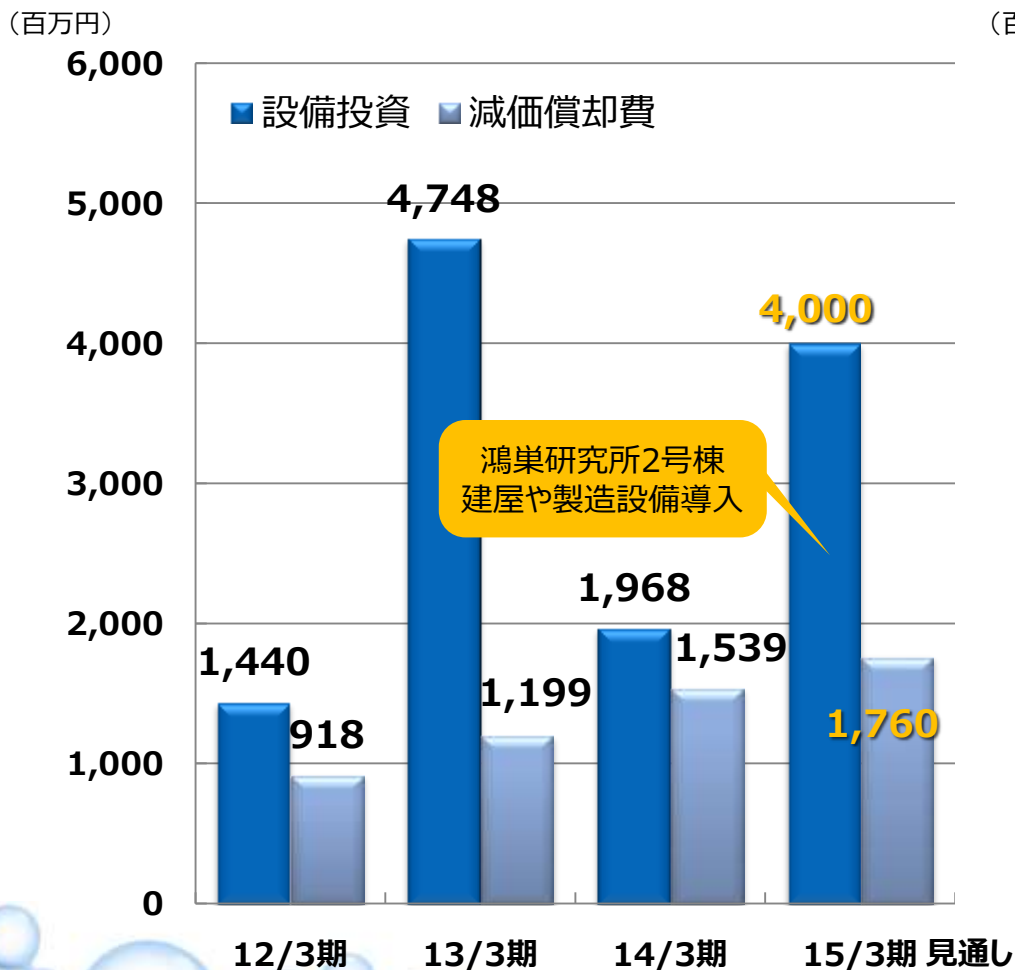
 **シンガポール**

- 2013年3月より本格稼働
- ワンデー、2週間のピュアシリーズを投入。12月より遠近も



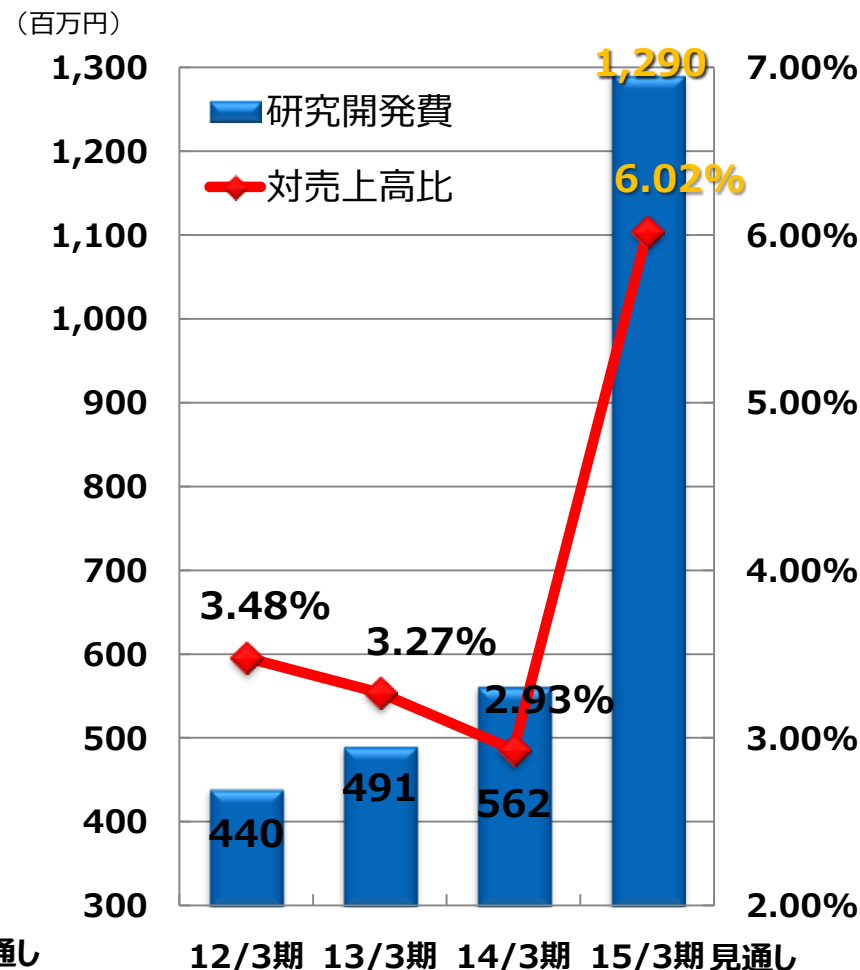
《設備投資・減価償却・研究開発費》

◆設備投資・減価償却



※設備投資額は、有形固定資産ベース
 ※減価償却費は、有形・無形・長期前払費用

◆研究開発費





[參考資料]



《会社概要》

- 本社：東京都文京区本郷二丁目40番2号 ■ 設立：1957年10月9日(昭和32年)
- 上場：1989年12月(平成元年12月) 店頭公開(現 東証JASDAQ市場)
- 資本金：1,841百万円
- 従業員：564名(連結)・481名(単体)※2014年3月末現在
- 営業所：9(札幌、東京、大阪、福岡 他)、その他駐在10(盛岡、静岡 他)※2014年3月末現在
- 工場・研究所：総合研究所(埼玉県桶川市)、鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)
- 連結子会社：(株)タワービジョン《小売》、(株)シードアイサービス《小売、クリニック運営・管理》
実瞳(上海)商貿有限公司《卸売》、SEED CONTACT LENS ASIA PTE.LTD. 《卸売》

■ 沿革

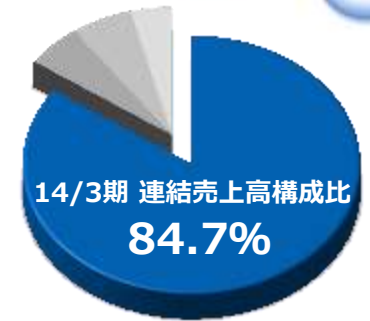
- 1957年10月 会社設立。商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
- 1987年2月 商号変更。「(株)シード」
- 2003年10月 両面モールド製法の製造許認可を取得
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2012年11月 総合研究所 ISO13485取得
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更



シード鴻巣研究所

《プロダクト紹介～コンタクトレンズ事業》

1日使い捨て・2週間交換コンタクトから、ハードコンタクトまで、幅広い商品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています。



シード ワンデーピュア うるおいプラス



シード ワンデーピュア マルチステージ
遠近両用



シード ワンデーピュア うるおいプラス
乱視用 ※本年6月全国発売開始



シード 2ウィークピュア



シード アイコフレワンデーUV



ヒロインメイクワンデーUV



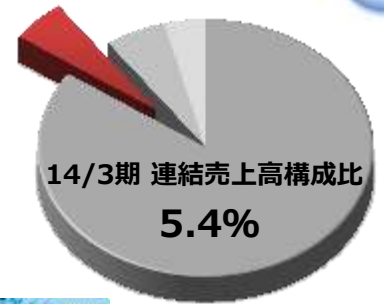
ハードコンタクトレンズ
全6種



ソフトコンタクトレンズ
全4種

《プロダクト紹介～ケア用品事業》

コンタクトレンズを快適にお使いいただけるよう、
 確実かつ簡便なケア用品をレンズに合わせて各種提供しています。



シードゥ ソフトケア ピュア
 ソフトコンタクトレンズ用洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
 酸素透過性ハードコンタクトレンズ用酵素洗浄保存液

NEW!



ジェルクリンW
 酸素透過性ハード・ソフトコンタクトレンズ用洗浄液



フォレストリーフ
 ソフトコンタクトレンズ用洗浄・保存・すすぎ液

NEW!



フォレストリーフ PB商品
 北陸エリアで展開するドラッグストア
 「ガンキー」様向けプライベートブランドです



シードロップ
 コンタクトレンズ用装着液

《プロダクト紹介～眼鏡事業》

イメージキャラクターを採用したオリジナルブランドのメガネフレームや、メガネレンズ、関連備品などを展開しています。



プラスミックス
～ 福士蒼汰さんイメージキャラクター



crocs™
eyewear
クロックス アイウェア
～ 世界的なブームを起こしたブランドのアイウェア



アイシード ～ 社名を冠にしたブランド



ヴィヴィフルール
～ ファッション雑誌『ViVi』の
ライセンスブランド



ビビッドムーン
～ 北川景子さんイメージキャラクター



NEW!
フェザント
～ 日本の国鳥である雉をブランド名に掲げ、
日本製の美しさを提案



NEW!
ファセット ファム
～日本の伝統工芸である切子細工のような
カットを施した、フレーム

《新たな「見える」もサポートします》

盲導犬育成・視覚障害者支援事業

Pureな^{eye}愛をありがとうプロジェクト

“あなたの見えるが、誰かの「見える」に”

視覚障害者の自立に繋がる盲導犬の育成を助成するため、「Pureな愛(eye)をありがとうプロジェクト」を展開しております。使い捨てコンタクトレンズ“ピュアシリーズ”の売上箱数に応じた寄付を、公益財団法人アイメイト協会に行うことで、盲導犬育成事業を支援することはもとより、アイメイト協会と協力して、視覚障害者の社会的自立に関する関心や理解を高めることを目指しております。

平成25年度分は、お陰さまで669万円の寄付を行うことができました。

※平成23年度からの累計 1,538万円



Photo by 中村 風詩人



公式ブログはこちら  <http://www.seed.co.jp/blog/eyemate/>

《連結子会社》

(株)タワービジョン(タワーメガネ)

〒340-0115

埼玉県幸手市中3-19-36 手島ビル2F

コンタクトレンズ、ケア用品、眼鏡、携帯電話、
補聴器等の小売

店舗11：常盤平、野田七光台、我孫子、東金
富里、JR佐倉、幸手、加須、東大宮、
所沢東、東武動物公園



(株)シードアイサービス

〒113-0033

東京都文京区本郷2-40-4 シード第4ビル4階

シードアイサービス
Seed Eye Service

コンタクトレンズ、ケア用品、眼鏡等の小売
ケア用品等の卸売、提携クリニックの管理業務

店舗12：本郷、有楽町、御茶ノ水、元住吉、和光
上尾、札幌、青森、弘前、仙台2、長岡

実瞳(上海)商貿有限公司

上海市盧湾区淮海中路918号久事復興大廈14F-2

コンタクトレンズ、眼鏡及び関連用品の販売(卸売)

SEED CONTACT LENS ASIA PTE.LTD.

50A Tras Street #02-02

Singapore 078989

コンタクトレンズ及び関連用品の販売(卸売)

50A#02-02 SEED CONTACT LENS ASIA PTE. LTD.





本資料に関するお問合せ

株式会社シード 経営企画部

T E L 03-3813-1650

又はホームページお問合せフォーム

https://www.seedcontact.jp/seed/fm_ir/



当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

<http://www.seed.co.jp>

